

タイトル BGM「クライアイ」こだわりポイントについて

始まり部分（0：00～0：06 秒）→Max（2：09）2 分 9 秒
デジタルとアナログが混合しているようなイメージ

0：06～0：08 部分
デジタルとアナログが混じるというより、合体するイメージ。
曲の盛り上がりも少し出せるように制作した。

A メロ 1（0：09～0：17）
普段の日常をイメージ。
このメロ部分はそこまで盛り上がらないようにしている。

A メロ 2（0：18～0：26）
普段の生活にデジタルが入ってきたイメージ
このメロ部分は、デジタルが入ってきたことで、普段の日常が変化してきたということを表現したかったため、A メロ 1 より音を変化させている。A メロ 2 の終わりらへんの「ジャー」は変化することを告げるようなイメージです。

B メロ 1（0：27～0：35）
過去に戻るようなイメージ（デジタルで変化する前の普段の日常を懐かしむイメージ）
このメロ部分は、音は静かな感じで制作。

B メロ 2（0：35～0：41）
アナログ文化を懐かしむ、回想（おっさんの）しているというようなイメージ。
おっさんの主張をしたいと考え、アコギでアナログ感を出してみた。
こちらのメロも静かめに進行している。

C メロ 1（0：42～1：10）
デジタルが普段の日常に浸透しようとしているイメージ。
アナログにデジタルという新たなものが入ることは、葛藤などもあると考え、このメロは少しびつ？になっている。

C メロ 2 (1 : 11～1 : 19)

デジタルによる変化が収束したようなイメージ。

このメロは、静かめにしている。

D メロ 1 (1 : 20～1 : 37)

デジタル文化の進化が加速しているようなイメージ。

このメロは進化のスピードが速いことを表現するために、激しめに制作している。

D メロ 2 (1 : 37～1 : 57)

デジタルとアナログが共存するようなイメージ。

平穏にデジタルの変化が終わったようなイメージ。

1 : 53～1 : 57 のところは、綺麗に音が重なるようにしている。

この音の重なりがデジタルとアナログの共存を表現している。

最後 1 (1 : 57～2 : 03)

普段の日常になってきたようなイメージ。

平穏な日常を表現したくて、音は静かめにしている。

最後 2 (2 : 04～2 : 09)

デジタル関係でまだ何かが起こりそうなイメージ

平穏で終わりましたが、と言えないように脅威？が迫っているような感じです。